



!TOPICS! トピックス!

p1 各部会視察研修報告記

p3 ▶ p4 営農技術通信 vol.4『スマート農業について』



JA今金町公式YouTube チャンネル登録・高評価お願い致します！

各生産部会の視察研修が行われています！

日 時 .. 7月3日～6日

視察先 .. 中央農業試験場
田中酒造株式会社

今回の視察では、中央農業試験場と小樽にある田中酒造（株）を訪問しました。

中央農業試験場では、今後実用化が見込まれている新品種の特性等について話を伺いました。田中酒造（株）では道内各地の地酒に対する取組や、今後の課題について話を伺いました。



今金町稲作部会

日 時 .. 6月19日～20日



今金町農協青年部

視察先 .. 國際農業機械展 他
ともに、最新の農業機械・設備に関する内容となり、特に國際農業機械展では、機上選別をAIで行うボートハーベスターの展示等、農業における課題の一つである人手不足対策の一環を担う機械を見学しました。



檜山北部広域小かぶ部会

日 時 .. 7月13日～14日

視察先 .. 札幌みらい
中央青果株式会社

今回は、取引先市場の表敬訪問を行い、現在の市況等について意見交換を行いました。市場担当者からは「小かぶを栽培している产地が少なくなつており、高品質・定量・定出荷ができる产地として、取引先からも高評価を頂いており、今後も作付面積の維持・拡大をお願いしたい」とのお話を頂きました。

6月下旬から7月中旬にかけて視察研修が活発化しており、先月号と今月号でご紹介した部会以外でも、今金町ミニトマト振興会、今金町早出馬鈴薯振興会が取引先市場への表敬訪問を行い、各产地の動向や、市場からの評価、求められる品質等について市場担当者と意見を交わしました。

理事会報告

第8回理事会（令和5年7月28日）

◆報告事項

1. 農業委員会総会報告について
2. 第一委員会報告について
3. 種子馬鈴薯第1期～第3期防疫検査の結果について
4. 農畜産物の生育状況及び販売状況について
5. 盆期間中の業務について
6. 顧客属性照会システムの定期結果報告について
7. 大口信用供与（5千万超）理事会決定に係る
8. 経営状況の定期報告について
9. 内部監査受託に係る報告書について
10. 第2四半期監査の実施について

◆議決事項

- 議案第1号 令和5年度情勢と農畜産物の栽培・管理等及び農産物の取り扱いについて
- 議案第2号 公用印管理規程の改正について

◆その他

令和5年度
第一回女性農業者向け営農塾

「ドローン見学会」 開催報告



ドローンの説明を受ける参加者



ドローンのデモ飛行を見学する参加者

令和5年7月4日に令和5年度第一次女性農業者向け営農塾「ドローン見学会」を町内の水田圃場で開催致しました。当日は女性農業者8名が参加し、株式会社コハタより講師を招き農業用ドローンのデモ飛行見学や、JA今金町が所有する撮影用ドローンの操縦体験を行いました。

デモ飛行では、タンクに水を入れて農薬散布の様子を再現し、実際の操作方法や、農薬散布時の注意事項などについての説明を受けました。

JA今金町は、これから地域農業を担う女性農業者の育成に向け、今後も女性農業者向け営農塾を開催していく予定です。

参加者からは、「ドローンでどこまで防除できるか知りたくて参加した」や「技術の進歩にとにかく驚いた」等の感想があがりました。また終了後にはアンケートを実施し、意見の集約を図りました。

宮農技術通信 vol.4

今金町でも普及してきているスマート農業

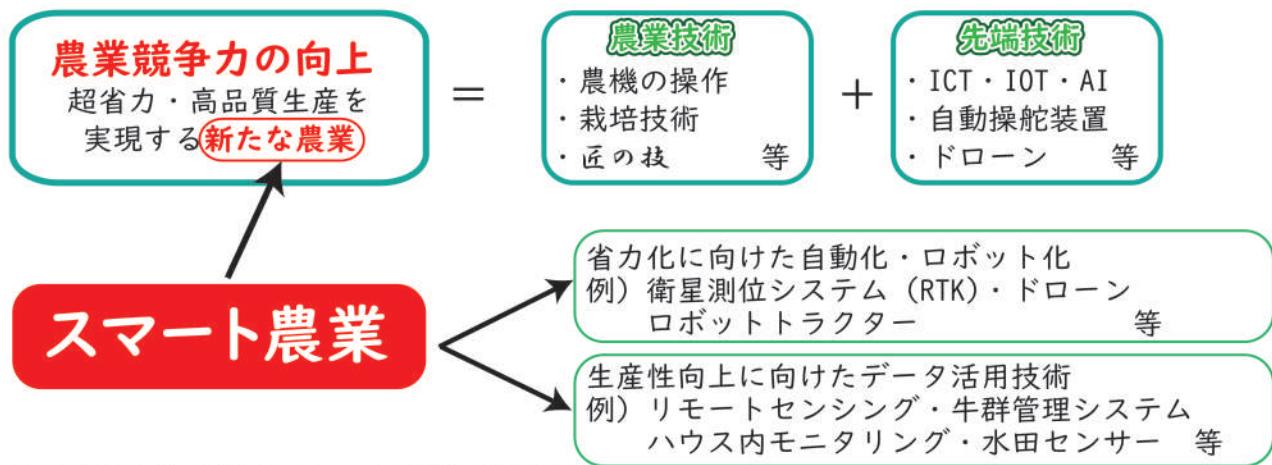
今金町では、ロボットトラクターを始め、トラクターの自動操舵、ドローンによる防除作業など様々な機械・技術が導入され、スマート農業に取り組む組合員が増えてきております。

J A 今金町も令和2年にホクレンRTKシステムを導入し、J A 今金町整備工場に基地局を設置し、スマート農業の普及を推進しております。

スマート農業とは？

スマート農業とは「ロボット・A I・I C T等の先端技術を活用する農業」の事で、先端技術を用いて農業競争力を向上させていく事が目的です。

スマート農業は①省力化に向けた「**自動化・ロボット化の技術**」②生産性向上に向けた「**データ活用の技術**」の概ね2つに分かれます。



今金町におけるスマート農業の取組

①ホクレンRTKシステムの導入

J A 今金町が導入したホクレンRTKシステムはトラクターやドローンなどの位置情報を補正するためのシステムです。このシステム導入により、通常は20cm～30cmの誤差あるものを誤差2cm～3cmに補正することができます。

このシステム導入により、作業精度が高まり、ドローンやロボットトラクターが普及する要因の一つとなりました。



②自動操舵システム・ロボット農機の普及

今金町農業の課題の一つである「人手不足」の対策として、今金町が策定する第8次今金町農業振興計画においても自動操舵システムやロボットトラクターの普及に力を入れており、現在、国の補助事業を活用しロボットトラクター4台、自動操舵システム64台が導入されています。

自動操舵システムはトラクターや田植え機に装着し、ハンドルを自動で制御して設定された経路を自動走行するシステムです。あくまでも直進をアシストするシステムなので、オペレーターの搭乗は必須です。

「田畠の耕起作業や管理作業」「田植え」に多く使用されており、道内では平成23年から普及が始まり令和3年には約14,000台が稼働しています。

使用者からは、「耕起作業の負担がかなり減った」や「常にハンドルを握っていなくていいので、田植え機に乗る人が1人でよくなり労働力低減につながった」などの声が上がっています。

「自動操舵システム（直進アシスト機能）」
※オペレーターの搭乗が必須



←自動操舵作業動画（中耕除草）

「ロボットトラクター」※オペレーターは搭乗しなくて良いが
作業の目視での監視が必須

ロボットトラクターは無人（目視での監視が必要）で作業を行うことができるトラクターで、旋回も含め自動で走行するほか、作業機の上下操作やPTOのON・OFFを自動で行うことができます。主に耕起、代かき等の作業に使用され、ロボットトラクターが粗耕起を行い、その後を追いながらトラクターで耕起作業を行う等、耕起作業等に於いては1人分の作業を行わせることができます。

使用者からは「労働力不足のなか、作業効率が格段に良くなった」などの声があがっています。

ロボットトラクター作業動画（2台同時作業）→



③水管理機器 WATARAS（ワタラス）

WATARASは、圃場を「見える化」し、遠隔操作で圃場への給水を制御します。

稻作の総労働時間の32%を占める水管理の時間を80%削減するとの試験結果もあり、水稻作業における大幅な労働時間の圧縮が見込まれます。※水管理に関する試験結果については農研機構の試験結果を引用しております。

ホクレン農業協同組合連合会におけるスマート農業の取組

ホクレン農業協同組合連合会ではホクレン訓子府実証農場「コネクトドファーム」において、スマート農業に精通した人材育成や、企業と連携し、新たな技術の開発・試験などを行っています。

これまで、南瓜の茎葉処理機の実証試験や、ロボットトラクターの試験走行、タイストール牛舎（つなぎ牛舎）用搾乳ロボットの試験、上記以外にも多数の試験を行っております。





圃場視察の様子

7月11日に今金町麦作振興会が管内視察を行いました。視察では町内2圃場、町外1圃場を視察し、生育状況等の他、檜山農業改良普及センター檜山北部支所が行っている、施肥試験の結果等について説明を受けました。

現在、外的な要因から小麦価格が高騰しており、国としても国産小麦の生産に向けた支援など国内生産増加を図っております。

今金町においても輪作を行って

いくうえで欠かすことのできない品目であり、今後も増収・品質向上に向けた取組が行われます。

今金町麦作振興会が 管内視察を実施



学習会の様子

7月11日に今金町農協青年部スマート農業推進課から講師を派遣していただき、スマート農業の基礎や、これから活用が期待される技術等について学びました。

今回、学習会を企画した青年部八束支部の田中一也理事は、「この内容で学習会をやりたいと前から思っており、ようやく開催できました。これからも、様々な知識を身につけるため、もっとこういう場を増やしたいです」と意気込み語りました。

7月11日に今金町農協青年部スマート農業推進課から講師を派遣していただき、スマート農業の基礎や、これから活用が期待される技術等について学びました。

ホクレン農業協同組合連合会スマート農業推進課から講師を派遣していただき、スマート農業の基礎や、これから活用が期待される技術等について学びました。

ホクレン農業協同組合連合会スマート農業推進課から講師を派遣していただき、スマート農業の基礎や、これから活用が期待される技術等について学びました。

今金町農協青年部 スマート農業を学ぶ



早出し馬鈴薯収穫の様子（芳賀健太さん圃場）

7月14日今金町早出し馬鈴薯振興会会長の芳賀健太さんが早出し馬鈴薯の収穫を始めました。本年は、春先の好天にも恵まれ順調に推移し例年より早い収穫となりました。

本年も早出し馬鈴薯は、ライマソン価が高く収量、外観共に良い出来であるとの事です。農協への初出荷は7月24日に始まり、8月以降出荷が最盛期を迎えます。

J Aのオンライン販売は9月以降の秋馬鈴薯から始まりますので、お買い求めの方はもうしばらくお待ちください。

早出し馬鈴薯の 収穫・出荷始まる！



品質について話す生産者

7月25日今金町ミニトマト振興会が目揃え会を始めました。本年は、好天に恵まれ、順調に色づきが進み、8月には出荷最盛期を迎えます。

目揃え会では、販売担当者から現在の市況等について報告をした後、品質やサイズなどについての注意点が話し合われ、特に本年から予冷が効く22号倉庫での集荷となつたことで、出荷後の色づきが変わった事等が確認されました。

ミニトマトは新規耕作者が増えるなど、今金町農業をけん引する品目の一つとして、J A今金町では生産者と協力して生産・販売環境の整備に努めています。

出荷最盛期に向け 目揃え会が行われました



自民党武部新議員へ要請文を渡す様子

J Aグループは組合員とご家族の皆さんが将来に渡って安心して営農していくよう農政活動を行つて参りました。組合員一人一人が集まる組織だからこそ国に提言できる事がたくさんあります。

今後も協同の力を発揮し農政活動に取り組んで参りますので、引き続きのご理解ご協力を宜しくお願い致します。

J Aグループは組合員とご家族の皆さんが将来に渡つて安心して営農していくよう農政活動を行つて参りました。組合員一人一人が集まる組織だからこそ国に提言できる事がたくさんあります。

J Aグループは組合員とご家族の皆さんが将来に渡つて安心して営農していくよう農政活動を行つて参りました。組合員一人一人が集まる組織だからこそ国に提言できる事がたくさんあります。

J A北海道中央会 農政活動をお伝えいたします

J A北海道中央会では、年数回にわたり、農林水産省との意見交換や、国會議員に対して現場の生の声を届ける中央要請活動を行つており、道南地区組合長会会長として小田島組合長が出席しております。

今回は7月20日に国會議員に對して要請活動を行い、J Aグループ北海道が掲げる「国民の理解醸成と再生産可能となる適正な価格の形成」や「農業者の経営安定対策の強化」等への理解と政策反映への後押しを求める他、水田活用の直接支払い交付金関連予算の確保や改正畜産経営安定法の見直し等、作物別にも要請を行つてまいりました。

J Aグループ北海道農政 NEWS website では J A北海道中央会の農政情報等を逐次更新しております！アクセス方法はP7をご覧ください。



J A北海道中央会～その役割と意義～

皆さんJA北海道中央会をご存知ですか？正式名称を北海道農業協同組合中央会といい、道内各地のJAと連合会（JA北海道信連・ホクレン・JA北海道厚生連・JA共済連北海道）を会員とし、会員の健全な発達を図ることを目的とし設立され運営されています。農協運営や農政活動等々JAグループの協同活動を支える重要な組織です。その役割と意義をご紹介します。

人づくり

協同活動を担う人材育成を行っています。JA青年部・女性部への活動支援を通じた組織育成・担い手育成に取り組んでいます。JAに対しては、営農指導のスペシャリストや多様な組合員ニーズに対応できる人材の育成に取り組んでいます。

情報発信

消費者の皆さんへの北海道農業のPR・理解醸成に向けて、テレビ番組やラジオ番組を通じた情報発信を行っています。子ども達への食農教育。地産地消運動。社会貢献活動等を通じて、北海道農業・JAグループ北海道が果たす役割を広く発信しています。

農業政策

組合員所得の向上と農村地域の活性化を目的に活動しています。北海道農業の持つ潜在能力を最大限に發揮するため、農業政策の提案、農業予算の確保、税制対策の確立に取り組んでいます。国際貿易交渉に対しては、日本の食料基地としての使命感に立ち、重要品目の関税維持を求めています。

総合企画

J A北海道大会を3年ごとに開催し、JAグループ北海道の方向性を定めています。JA北海道大会の開催にあたっては、全道の約7万人の組合員が参加する組織討議を通じて、組合員・JA・連合会・中央会の意志を結集しています。

総合サポート

農業振興のサポートとして、農業の担い手の育成やJAの営農指導体制強化、生産・流通段階の食の安全・安心対策や環境保全対策に取り組んでいます。また、組合員を支えるJAの健全経営に向けた個別課題解決のサポートを行っています。

出典：JA北海道中央会ホームページより (<https://www.ja-hokkaido.jp/>)

サイトの更新情報については、JA北海道中央会公式LINEで知ることができます。



(QRコードを読み込み、友達追加して下さい。)

農政NEWSウェブサイトへはこちらからアクセスできます。



(<http://ja-dosanko.jp/nousei/>
ID:nousei パスワード:hokkaido)

JAグループ北海道 農政NEWS website

農政のいま 活動報告 私たちの考え方 各種政策まとめ

最新ニュース Recent News

すべて 農政のいま 活動報告 私たちの考え方 各種政策まとめ

2023.07.28 活動報告 令和5年度 第4回北海道農協基本農政対策本部委員会の開催 NEW

2023.07.28 活動報告 食料安全保障の強化と令和6年度国費概算要求に向けた中央要請 NEW

2023.07.18 活動報告 農林水産省と北海道農協米対策本部との意見交換を実施

J A グループ北海道は、農業政策に関する情報をタイムリーに組合員の皆様に知つていただくことを目的として、農政に関する専用サイト「JAグループ北海道農政NEWSウェブサイト」を開設しています。

このサイトでは、農政及び国際貿易交渉を巡る現在の情勢や、JAグループ北海道が行っている農政運動等の報告など、随時更新されますので是非ご活用下さい！

農政情報
タイムリーにお伝えします！

第67回道南畜産共進会開催! ～北海道畜産共進会へ続く道～

第67回道南畜産共進会
I等受賞者一覧

部別	入賞		名号	町村名	出品者名
第2部	I等		いと2	今金町	田中 一也
第3部	I等		のあ	今金町	村瀬 一人
第4部	I等		まりこさん	今金町	田中 一也
第5部	I等		いちょう	今金町	株境田農産
第6部	I等	父系群	ひめこ	今金町	諸戸 邦吉
			ひめかつひさ	今金町	岡林 国光
			ななひめ	今金町	諸戸 邦吉
第7部	I等	母系群	あさひで	今金町	佐藤 弘一
			あさひ		

第18回北海道畜産共進会
出品者一覧

部別	名号	町村名	出品者名	適用
第3部	いと2	今金町	田中 一也	
第4部	のあ	今金町	村瀬 一人	
第6部	まりこさん	今金町	田中 一也	
第7部	いちょう	今金町	株境田農産	
第8部	ひめこ	今金町	諸戸 邦吉	父系群
	ひめかつひさ	今金町	岡林 国光	
	ななひめ	今金町	諸戸 邦吉	
第9部	あさひで	今金町	佐藤 弘一	母系群
	あさひ			



7月26日八雲町にて、第67回道南畜産共進会が開催され今金町から出品された和牛が健闘を重ね、9月1日から開催される、第18回北海道畜産共進会に多数の和牛が出品されることになりました。北海道家畜共進会における出品者皆様の更なるご健闘をお祈り致します。

※道南畜産共進会における部門別要件（受賞者一覧にある部門のみ抜粋）

第2部：未経産（生後14～17カ月未満）第3部：未経産（17～20カ月未満）第4部：経産（48カ月未満）

第5部：経産（48カ月以上）父系群（生後11カ月以上・同一父牛3頭一群）

第7部：母系群（生後11カ月以上・母娘2頭一群）

農業経営課

やまざきかいと
山崎 海斗

～DATA～

- ・生年月日 平成13年3月25日
- ・出身地：せたな町
- ・令和2年4月入組
- ・職歴 営農部農業経営課
- ・趣味 蕎麦打ち



日頃より大変お世話になっております。
私は入組から現在まで農業経営課に在籍し、3年が経ちました。

本年から担当地区は「八束・白石・日進」地区を受け持つこととなり、部会は「アスパラ・水稻直播・無人ヘリ」の事務局、並びに種子大小豆も担当しております。
不慣れなところはまだまだあります
が、誠心誠意努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

今月の二宮先生



「人道とは水車の中庸」

翁のことばに、人道というものは、たとえば水車のようなものだ。その形は、半分は水流に従い、半分は水流に逆らつてぐるぐる回っている。丸ごと水中にはいれば回らないで流れるだろうし、またすっかり水を離れれば回ることはありえない。仏教でいう高僧知識のように、世を離れ欲を捨ててしまつたものは、水車の水を離れたようなものだし、また凡俗で教義も聞かず義務も知らず、私欲一方で執着するのは、水車を丸ごと水中に沈めたようなもので、共に社会の用をなさない。

だから人道は中庸を尊ぶ。水車の中庸は、ほど良く水中にはいって、半分は水に従い、半分は流水にさかのぼって、運転滞らないところにある。人の道もそのように、天理に従つて種をまき、天理に逆らつて草をとり、欲に従つて家業を励み、欲を制して義務を思うべきだ。⁽¹⁾

（二宮翁夜話より）

※語録一二四
(1)「社会」・「義務」の用語は明治のものである。

協同組合の先駆者である二宮尊徳が残した言葉の数々を紹介します。
先人の言葉には時代が変わっても普遍的な学びがあるのではないでしょうか。
皆様の心と生活がより豊かなものになるヒントになれば幸いです。

もぎたて市&いまかね減塩大作戦コラボ企画 ベジタブルのちょこっといい話

8月は『なす』にいまかね減塩シールをはります。そんな、なすの魅力を引き続き、連載で「ベジタブルのちょこっといい話」をお届けいたします！

前回、ご紹介した「減塩のコツ」ですが、出来ることを続けてください！減塩への取り組みのためにも、新鮮な夏野菜（なす）をご利用ください。

なすびのプロフィール

【分類】ナス科ナス属
【原産地】インド東部
【おいしいカレンダー】6月～9月ころ
【主な栄養成分】ナスニン・カリウムなど
◆生産量トップ3◆

1位：高知県

2位：熊本県

3位：群馬県

2021年産調べ



◆なすのチカラ◆

紫色の皮に含まれるナスニンは、ポリフェノールであるアントシアニンの一種です。活性酸素の発生や働きを抑える抗酸化作用があります。コレステロールの吸収を抑える効果もあります。また、カリウムも豊富で、塩分（ナトリウム）を体の外にだす働きがある栄養素です。

なすには、老化や高血圧など生活習慣病、ガンの予防に期待できます！

♪レシピ「なすそうめん」

【材料（4人分）】
☆なす 4個 ★だし汁 1カップ
☆そうめん 400g ★しょう油 大さじ2
☆小揚げ 4枚 ★みりん 大さじ2
★ごま油 大さじ1 ★酒 大さじ1

【作り方】

1. 下ごしらえ

なす：ヘタをとり、半分に切り、皮目に切り込みを入れ、薄い塩水に浸けてアク抜きをする。

そうめん：かためにゆでて洗い、水切りしておく。

油揚げ：斜め半分に切りザルに移し、熱湯をかけて油抜きをし、キッチンペーパーで水気をとる。

2. 熱したフライパンにごま油をひき、なすを皮面下にして焼き、裏返して焼き色がつくまで焼きます。

3. 鍋にだし汁、しょう油、みりん、酒を加え煮立たせたところに②のなすを火が通るまで煮込み、油揚げも加え煮込む。

4. 器にそうめん、油揚げ、なす、③の煮汁、お好みのトッピングを順に盛りつけたら完成です。

※1人分あたり512kcal、たんぱく質17.5g、脂質13.4g、炭水化物84.1g、食物繊維4.7g、塩分2.3g



【今金町では、食育の一環で『毎月19日は地場産物を食べよう！』と、活動しています！

もぎたて市では、今金町でとれた新鮮な野菜を皆様へ提供しており、19日に地場産物の野菜を積極的に食べて欲しいです！



◆保存方法◆

低温や乾燥に弱く2～3日常温で保存できます。冷蔵庫の野菜室に入れる場合は、冷気にあてないように、新聞紙で包んでから入れましょう。

◆調理のコツ◆ | チェック

体を冷やす効果があり、夏バテ防止にも最適ななすですが、皮にハリとツヤがあり、傷や変色のない、ヘタがしっかりとしているものを選びましょう。ナスニンは皮に含むため、皮ごと油で調理がおすすめ！油で切り口をコーティングすることでナスニンを比較的とどめることができます。ナスニンやカリウムは水溶性なので、アク抜きのために水にさらす時間が長くなると栄養が減ってしまうので注意しましょう。

食品成分表（可食部100gあたり）

エネルギー	18kcal
水分	93.2g
たんぱく質	1.1g
炭水化物	5.1g
無機質 カリウム	220mg
カルシウム	18mg
マグネシウム	17mg
リン	30mg
鉄	0.3mg
マンガン	0.16mg
ビタミン B1	0.05mg
B2	0.05mg
葉酸	32μg
C	4mg
食物繊維	2.2g

～今金町保健福祉課より寄稿頂きました～